



The Rotary Club 06 Hamamatsu Siyou Weekly Report 浜松志耀ロータリークラブ 週報

浜松志耀ロータリークラブ 第70回例会

開催日時: 2025年12月25日(木) 7:30 ~ 8:30

開催場所: オークラクトシティホテル浜松3 階チェルシーの間

■ 会長挨拶 衛藤会長

ロータリアンのみなさんおはようございます。

12月は、RI(国際ロータリー)方針「疾病予防と治療月間」です。今日は、西太平洋地域のポリオ根絶について「ある方」の寄稿をご紹介します。

『私は今でも、「すべてを変えた一冊の本」のことを鮮明に覚えています。1970年代初め、東京・渋谷の大型書店での静かな午後。将来の進路に迷っていた私は、ふと目に留まったある精神科医の手記を手に取りました。ページをめくりながら、医師という職業の使命感と尊厳に心を打たれました。その夜、私は医師になることを決意しました。その後10年間、離島の診療所や都内の病院で眠れぬシフトをこなす日々を送りました。が、やがて、もっと広い世界にインパクトを与える仕事がしたいと思うようになりました。そしてWHOの求人に応募することに。選べるポストは2つありました。一つは、課長職、もう一つは、より給料が低い課長補佐で、ポリオ根絶の担当。私が選んだのは後者でした。これが、西太平洋地域でのポリオ根絶という壮大な挑戦の始まりでした。』

私がWHOで仕事を始めた1990年当時、ポリオの根絶は不可能だと思われていました。アジア各地では依然としてポリオが蔓延し、資金も計画もない状態でした。「2000年までにポリオを根絶する」というWHOの決議によるタイムリミットもあり、まさに混乱からの出発でした。カンボジアとベトナムでは、川を小舟で移動しながら生活をする「浮遊集落」があり、予防接種が困難でした。フィリピンのミンダナオ島では、紛争によって現地に行くことさえほぼ不可能。中国では、「一人っ子政策」のため第2子以降は予防接種台帳に登録すらされていませんでした。悲しいことに、真っ先にポリオの犠牲となるのは、こうした「見えない子どもたち」でした。最大の課題は資金調達でした。ワクチンの確保だけでも数億ドルかかります。これに加え、運営、インフラ整備、現地スタッフの育成、遠隔地での活動など、すべてに多額の資金が必要です。1991年に東京で国際会議を開いて支援を呼びかけましたが、資金援助の申し出は一つもありませんでした。1992年10月、北京でもう一度開いた国際会議で、新たな展開がありました。会議の直前、日本、インド、米国の3人のロータリアンが私を訪ねてきました。東京での会議にも参加し、事情を理解していた3人は、「接種の対象年齢を5歳未満から4歳未満に引き下げれば、150万米ドルを寄付する」と申し出てきたのです。この申し出は理に適っていました。WHOの方針は「5歳未満」でしたが、多くのポリオ患者が4歳未満に集中していたのです。対象年齢を下げることで、よりの絞った効果的な予防接種キャンペーンができます。これを知っていたロータリアンたちは、この寄付で最大限のインパクトを与えたいと考えたのです。これですべてが変わりました。この150万ドルは、最初の本格的な資金となりました。ロータリーはその後も、資金の提供だけでなく、真のパートナーとなって現場でのワクチン投与や草の根レベルでの啓発活動を行いました。また、その世界的ネットワークを活かして政府や団体への働きかけも行いました。

2000年、ついに中国を含む西太平洋地域全体のポリオ根絶が宣言されました。』

この方は、尾身 茂(おみ しげる)さんです。新型コロナウイルス感染症対策で辣腕を振るわれたあの尾身教授です。現在、ロータリーのポリオ根絶大使もお務めになられています。引き続き私たちも共にポリオ根絶に取り組んでまいりましょう。

本日も、よろしくお願いいたします。

■ 幹事報告 西川幹事

1. 下半期の会費納入をお願いします。
2. 例会終了後に理事会を開催します。

■ 誕生日 吉野会員、衛藤会員、加茂会員

おめでとうございます。



■ 議事1 年次総会 議長:衛藤会長 進行:西川幹事

1. 報告事項 2024-25 年度事業報告 小川前年度会長

①例会報告、②各委員会事業報告、③議事報告などについて、報告がありました。

2. 第1号議案 2026-27年度 理事承認の件 松井次年度会長

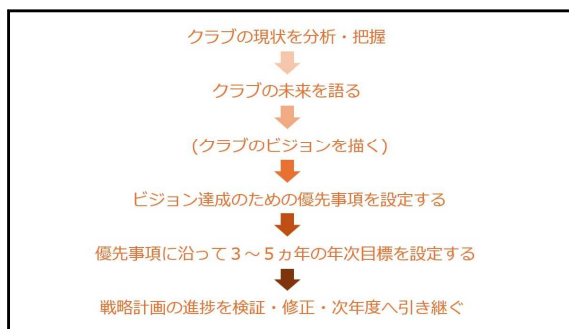
以下の理事について承認を得ました。各理事より挨拶がありました。

松井進	会長
小川善嗣	副会長・長期戦略計画委員長
加茂福史	副会長・会計
小澤邦比呂	副会長・会計監査
衛藤仁	直前会長
西川公一郎	直前幹事
平野智広	幹事
田中紀春	会場監督
柳生七重	副幹事・クラブ管理運営委員長
平出美香	奉仕プロジェクト委員長
小川典美	副幹事・ロータリー財団委員長
山本泰子	会員維持増強・選考委員長
刑部雄作	公共イメージ委員長
久米加代子	副幹事・クラブ行動計画推進リーダー



■ 報告 「クラブ行動推進リーダーについて」 衛藤会長

「行動計画推進ラーニングセミナー」を受けて、行動計画の概要について解説がありました。今後、当クラブの取り組みをどのようにしていくかを検討して参ります。



☑ 行動計画に含まれること(典型例)	
項目	内容
目的/目標	何を達成したいのか (例: 会員増強10%増)
具体的な行動	どんな行動をするか (例: 知人1名をカフェに誘う)
担当者	誰が行うのか (例: 60歳以下の会員+増強委員)
期限	いつまでに実行するのか (例: 12月30日まで)
測定方法	どう成果を確認するか (例: 誘った人リスト作成)



■ スマイル

- ① 衛藤会長・西川幹事一年次総会の御礼、久保田仁司さん、中山理さんのご来場の御礼
- ② 松井会員一年次年度よろしくお願いします
- ③ 山本会員ー中山さんご来場の御礼、「水の道化師の物語」映画の紹介

※ビジター2名(久保田仁司さん、中山理さん) ※出席率: 67.7 % (会場 20名+BAND 1=21名/31名)

国際ロータリー第2620地区 静岡第5グループ 浜松志耀ロータリークラブ
例会場/オークラアクティシティホテル浜松 第2・第4木曜日/7:30-8:30 090-7682-7106

